

「基礎情報学研究会」常設設置申請書

1. 研究会名

基礎情報学研究会

2. 研究テーマ

主査・西垣通が提唱する「基礎情報学」をベースにした高校と大学の情報教育の刷新、および「基礎情報学」による、情報システム学の新たな基礎理論の構築。

3. 主査氏名、所属、連絡先

氏名：西垣通

所属：東京経済大学コミュニケーション学部教授

連絡先：nisigaki@tku.ac.jp (は@に置き換えてください、以下同じ)

4. 幹事氏名、所属、連絡先

氏名：高田信夫

所属：株式会社 高陵社書店代表取締役

連絡先：at5n-tkd@asahi-net.or.jp

氏名：中島聡

所属：埼玉県立大宮武蔵野高校教諭

連絡先：nakajima.tadashi.18@spec.ed.jp

氏名：伊藤重隆

所属：みずほ情報総研(株) 公共システム業務部

連絡先：shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp

氏名：魚田勝臣

所属：専修大学名誉教授

連絡先：issj-office@issj.net

氏名：芳賀正憲

所属：コスモロジック

連絡先：cqa12715■nifty.com

5．研究テーマ設置の趣旨

「基礎情報学研究会」は、主査・西垣通の『基礎情報学』をベースにした高等学校の情報科および大学の情報教育の刷新を目的として発足した研究会である。

現在、高校の情報科や大学の情報教育では、「情報＝コンピュータ」というイメージが強く、コンピュータの操作法を教えるところが多い。しかしながら、本来教えるべきなのは、「社会や人間と情報の関係」、つまり情報社会でいかに生きていくかの基礎的な教養や知識を身につけることであり、そのためには、基礎情報学をベースにした情報教育が必要である。

この考え方を普及するために、「基礎情報学研究会」では、基礎情報学をよりやさしく解説したテキスト『生命と機械をつなぐ知 基礎情報学入門』（高陵社書店）および高校・大学の教師向けの基礎情報学的情報授業の手引き『生命と機械をつなぐ授業』（高陵社書店）を刊行し、勉強会を開いてきた。

一方、情報システム学会は、「人間中心の情報システムを志向し、ビジネス・研究領域の融合や情報システム人材の育成を目的とした学会」であり、“情報システム”を、「単なるコンピュータ応用システムではなく、人間活動を含む社会的なシステムとしてとらえる」としている。すでに第1回全国大会・研究発表大会において、学会設立の発起人でもある中嶋聞多氏から、生命記号論やオートポイエーシス論、メディアロジーに対する批判的検討から生まれた壮大な情報システム論でもある基礎情報学を、情報システム学の基礎理論構築の出発点とすべき旨の指摘がなされている。

今回、基礎情報学の勉強会を通じて情報システム学会との接点ができ、情報システム学会がめざす「人間中心の情報システム」と、「基礎情報学研究会」がめざすものとの間に共通点を見出したため、今回、学会の常設研究会設置の申請をした次第である。

この研究会の活動の中で、我々は、高校・大学の情報教育の刷新をめざすと同時に、より広く、基礎情報学にもとづく、情報システム学の新たな基礎理論の構築を進める。

6．主たる活動場所

一般社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会事務所

7. 活動計画（概要）

基礎情報学について、高校・大学・企業に向けての啓発・普及活動として、おおむね2か月に一回の勉強会を開催する。

高校・大学現場で実験授業をおこなう。その実践結果を踏まえて、基礎情報学をベースにした高校・大学向けの情報教育テキストを執筆し、書籍出版をめざす。

基礎情報学にもとづき、情報システム学の新たな基礎理論の構築を進める。可能なら普及のための書籍出版をめざす。

8. メンバー構成

メンバー構成は、研究会の進捗とともに会員及び非会員からの増強や改選をしてゆく。

主査 西垣通（個人会員）

幹事 高田信夫（個人会員）

幹事 中島聡（個人会員）

幹事 伊藤重隆（個人会員）

幹事 魚田勝臣（個人会員）

幹事 芳賀正憲（個人会員）

メンバー 久保田裕 コンピュータソフトウェア著作権協会事務局長

メンバー 寺本卓史 城西国際大学メディア学部准教授

以上